

一般交通方法の經濟的意義と其特質 (承前)

Dr. Emil Sax 著

今 野 秀 輔 譯

目 次

第二章 交通方法と其完成の影響をうける

經濟的發達。

一、生産に及ぼせる影響。

一、生産企業の内部の性質に及ぼせる影響。

一、殊に土地生産に就きて。

一、原料品加工。

一、地方經濟より世界經濟に至る經過。

一、生産上に及ぼせる電氣動力の影響。

一、商業の形態に及ぼせる交通發達の影響。

一、勞銀、資本利子及び地代に及ぼせる影響。

一、完成せる交通制度に依りて種々なる生活區域に

及ぼしたる影響と夫より發生せる經濟上の反動。

第二章 交通方法の經濟的特性。

一、相互的經濟關係に於ける交通方法の技術的要素。

一、經濟的要素の交通方法の完成上行はれたる推移。

一般交通方法の經濟的意義と特質

生産に及ぼせる影響

先づ運送方法の一般的發達より、生産の増

加に及ぼす、全く一定の影響ある事明白なり、

生産品の販賣能力と價格構成とに及ぼす交通

方法の作用に就きての供述は、夫れのみにて、

貨物の生産に對する作用の確定事たるを意味

するのである。前述の價格現象は、事實的販

賣を前提とし、且其販賣は當該貨物の製造を

前提とす。生産が生産品の販賣の擴張を見た

る市場を利用する限り、地方的狀態及び其範

圍にて、生産は自ら變ず。一部分は或地方の生産が、其他の地方の生産の代りに起つて來る、此事たるや全國の區域にも適用せらる。

併し乍ら又以前高き運賃の爲に、事實上生産せられず且又、需要地にて生産し得る能はざりし如き貨物を、今出來る丈製造しうるによりて、總割合の騰貴が出現するのである。

乍併夫を以て交通方法の完成によりて生産に及ぼす影響は決して盡きたりとせぬ、終局の結果に強く影響する間接の作用が是を證してゐる。

運送可能法と購買可能性とは、四方に發達し、生産品の市場區域は、大なる面積に集中する事に依り、種々なる生産地間の競争は刺激増進せらる。此點に關して、其當該貨物を最僅少の生産費を以て、製造し得る狀況にある生産者に、最大の見込を與ふるを以て、其生産者は、彼等の經濟狀態の恩恵を、著しく擴張したる需要者區域によりて、極度に利用するを得。故に是等の生産者は、生産品をよ

り廉價に提供し、夫に依り他の生産者をして、生産を出來うる限り有利に行ひ、價格の提供に於ても、例へ幾分薄利を以てするとも、同一の步調に出づる様に全力を傾注するの餘義なきに至らしむるのである。斯の如くして競争が内包的に増加する事に依り、最大限度に價格を表示して、増加せる生産品の販賣に努力するの要あるを各に要求するのである。これにより價格に及ぼしたる壓迫は、消費増加の衝動を招致するに相違なく、是は必然起り來る生産増加を維持し、事情に依りては、兎に角、生産を猶一層行ふ作用を爲す事となる。斯様な發達の許に、其競争者に勿論追從する事を得ざる者、又は夫を欲せざる生産者は打撃を蒙るのである。

其他原料品購入上の廉價といふ點に介在する生産費の輕減といふ事もある。貨物の製造に、技術上必要とする總ての材料と人手とを、生産場所に具備してゐない。かゝる貨物は生産を行はるゝに先だち、往々場所の變更を要する

のである。交通方法の完成は、恒に加増的に此豫備費用を減少す。貨物の製造上豫備費に依りて得たる實費の輕減は、明かに價格上に表はる、他方斯様な貨物を、廉價にて輸入する事は、上述の補助機關のなき爲に存在せざりし地方にて生産するを得しむ、甲又は乙の方法にて再び生産増加に及ばず影響が起るのである。

終りに此影響は、猶他の方面からも一段深められる、運送費は、貨物の交換上無益の負擔にして、従つて其輕減は、他の目的の爲に用し得らるゝ力に相應せる節約と同意義である。運送の爲の勞働及び資本上の失費は、今や交通方法の完成に依りて相對的に減少せらる、完全なる交通方法は、先づ其成立及び經營に、勞力と資本とを要求するも、複雑なる利用効果より見て、比較的遙に少なき費用が費やさる。是先以て生産の増加に對する障害の撤排である。不完全なる交通方法に於ては、運送を成就せしむる爲に必要であつた勞力と

資本とは、生産の増加にも免がる能はざるものである。

然れども、交通の完成は、一定の給付量に對する人力の需要をば、技術的に進むによりて減少せしむ、又場所移轉の速度は他の行爲、殊に貨物製造の爲に利用さるゝ時に於て顯著なる利益を與ふ。水上及び陸上の運送が殊に現代の交通方法、下りては自轉車に至るまでもに依りて經驗せられし、非常に大なる速度を考ふべきである。是こそ、生産上供給せらるべき勞力の増加を意味するのである。資本に關しては、運送上の種々の改善は同様の意味にて主張せらる、即ち貨物の破壊或は損傷を減するに依り、一層大なる安全性と運送品の性質とを考慮せられたる構造は、即ち資本の節約と、多種多用の資本又は勞力を節約すべき方針（損害豫防等）に於ける旅客及び通信の完備、其時間中給付能力を奪はれたる固定資本となるが故に、貨物の輸送中及び在庫時間の短縮に依れる運送給付の増加的速度及び

包容方も、此種に屬するものである。總て是等の個々の作用を、總體の効果をうる爲に實現するならば、勞働及び資本の兩生産要素が、交通完成に依り、生産の増加となりて表はるべき、ある力を經驗する事に就きて、疑を挾まぬであらう。交通方法の發達が、生産より土地を奪ふといふ事は、例令個々の場合に於て、例令ば航行しうる河水の水位を調節するため、大なる人爲的湖水を設置するが如き場合に、恐らく問題となりし事あるべきも、障害物として作用するに該當するが如き事は、今日迄實證されてゐない。

是等の現象の終局の結果は、運送方法の交通創造作用として、交通形態の上に及ぼせる反動作用の中に會得したる處の製造貨物の持續的に顯著なる増加である。乍併勿論其作用が漸次實施さるゝ效力に就きては、比較的弱まる事、並びに他の反動的經濟上の原因に依り、一部分阻害せらるゝ事あり、又往々過重に又は過少に評價せらるゝ事を度外視して

の事である。是によりて交通上に表はれたる發達と、従前費用額によりて妨げられたる、交通慾望の充足を生せしめたる、完全なる交通方法を喚起せし夫等の交通行爲と關連するのである。人は此點に就き、改善せられたる交通方法に依りて解決せられ又は喚起せらるゝ潜在的交通といふてゐる。

生産企業の內的性質に及ぼす影響

區域に影響する原因的連繋に於て、生産の特性上明白な規定がある。販賣及び生産の範圍の擴張も、此點に於て規準的影響を有してゐる。如何となれば、一定度の生存力増加する時、及び夫に開かれたる販賣可能性存する時に際し、始めて土地開拓には外延的經營方法より、内包的經營に移る經濟的可能性がある、材料加工業に於ては、亦生産費の輕減に間接的作用を有する處の大經營を採用する動機が與へらるゝのである。併しながら交通方法と、生産との間に在る全く直接の關係は、指摘したる點に於て重きをなす。其關係よりして、

一般に交換の行はるゝ遠隔なる經濟區域間の貨物の交換は、不完全なる運送方法に於ては、其自然的性質若くは、住民の文化の程度に依り、其範圍の各區域に於て、結局特有な生産品が制限せらるゝ結果となる。然るに交通方法の次第に發達するにつれ、古は地方的にのみ販賣能力ありし諸種の區域にて、生産せらるべき貨物の生産及び交換に於て一般化し、又益範圍廣まる競争が開始せらるるのである。

只地方的に制限せられたる販賣上の斯の如き可能性は、其生産品に對しては、嘗て與へられたる生産利益を全く奪取する事を、阻止するといふが如き或拘束を意味す。交通制度の發達に連れ、此事は止む。完全なる交通方法は、一つ或は他の生産條件の具體的工夫を普及せしめ、夫に従ひ擴大せる販賣區域内にて、極めて有利なる條件の爲に、他の區域より有利に生産する生産部門の中にて、其生産手段を適用すること、従つて此範圍は、最有利に供給しうる事、夫に反し一層良きか若く

は廉價なる製造を爲しうる恩恵を、他に與ふるが如き夫等の貨物をば、其處より交換により調達し得といふ事を、各區域に對し經營的に廣告せらる。當時者双方は、自己生産に依りて缺陷ある慾望の充足を爲す不利益より、運賃に對する失費が、より少なき間は夫によりて利益をうるのである。只特殊の生産利益の優越（此處には常に天然の長所のみならず、夫々の事情に應じ、資本若くは勞力等の長所と解すべし）が、運送費以上に昇らざるが如き生産品の種類は、此點に於て變化ない、而して夫等の種類に於ては、運送費の出來うる限りの回避、されば地方的販賣の或制限、經濟主義の禁止となつてしまふのである。

交通方法の完成につき論述せられたる影響の行はるゝ其程度に於て、經濟的に最良の立場に従へる生産部門の集まる原因として、其作用は表はる、此事を個々に觀察すれば、生産の専門化を意味するのである、即ち此處に研究を要せざる（關稅處分）人爲的豫防に依り

て、其作用に障害を設けざる限度にて、交通方法の進歩と共に、場所的又は物體的に發達し、又相應に實現する一種の傾向である。

此事情を命名して、地方的分業となす。又簡單に、運送方法の完成は、夫自身の進歩の程度にて（國際的及び大陸的形態に至る迄）地方的分業の傾向を促進すといふ、其際又始めに指摘したる經營法の變化に伴なふ、交替作用も之に加はるものである。

前述の一般的發達現象にして、一方は土地の耕作に於て、他方原料品加工に於て表はるべき、其特性は注意を要す。

特に土地の生産に就きて

土地生産物が、陸の通路に依り、常規の期間内にて只狹き區域内のみに、運送能力のありし限り、内地の農業經濟の形態は、主として其產物に據るのが當然であつた。國民經濟學者にして農業家たるヨハン、ハインリヒ、フオン、チエネン I. H. v. Thünen（西曆一七八三年六月二十四日誕生、一八五〇年九月二十

二日死去）は此事を教授的立脚地より、恰も古典的と命名する研究に依りて證明した。街上には車輪貨物の外に、其他運送法存在せずとの假定を基礎とし、計數上の説明を以て、我等祖先の農事經濟の模様を、我等に提供する事を得た。

農業及教育の種々なる生産物は、即ち（一般に些少の）運送能力の異なる度合を表してゐる、是或は同様なる運送費に對して、甚異なる價格の爲と、或は生産品の若干のものが、其自然的性質のため（例、急に腐敗するが爲）、輸送上特殊の要求あるに起因するのである。其運送能力及び販賣能力の多少に従ひて、消費地の遠距離又は近距離に於て、開墾能力あり、就中農業制度は、階段費用を以て、生産品を生産するが爲、即ち生産物の獲得上、其運送に必要な運送費の差も階段あるにより、生産品の種々の價格あるを前提とするのである。以上の如き關係に在る個々の農業經濟的生産物、及び經濟組織の専門的研究を基

礎として、チューネンは「中心には唯一の消費地として、一都市が存在し、其内部には馬車の外國道には、他の交通方法の存せざる全く平坦なる土地と、概ね同質の土地性狀とを有せる輸出入に對し、全然閉鎖せられたる環狀の區域ありとの前提の許に、思考せられたる消費地の周圍に、特殊の生産種類と一定の農業經濟組織とを表はす處の、多數の同心圓が集まるべし」との結果を得た。

實際に於て種々様々の事が、凡ての事情が、假定的に等しき位置に起り來るが故に、此抽象的生產區域は、各種の形態をとる地帶となる。此最後の平等性は、標準的原因の必要なる影響を説明するに關して是認されたのである。良好なる土地の性質は、生産地の需要地に一層近きと同様な作用をなす。或又は同一の經濟區域内の許多の消費中心は、明かに其生産物の區域の交叉をなす作用あり。例へば山岳を通過するが如き方向の運賃の騰貴は、地帶の短縮を來し、運送の低廉は、地帶の擴張

を來す結果となる。斯様にして遂に各農業的生產及び生産方法が、其市場よりの距離によりて定まるべき必要の立場を持てる、種々の地帶の集合に依る錯雜關係が形成せらる、農業經濟を支配する場所上の狭く引かれたる限界の附屬性である。

より完全なる交通路は、此關係を本質的に變じた、鐵道による運送が遙に低廉なるにより、一般に夫に相應せる地帶の延長を見る作用をした、こは已に一方的に水路に依りてのみ行はれたのである。從來遠隔地にありし區域は、鐵道によつて内部の地域に進められた、牧畜の代りに穀物の栽培起り、後者の地農業の地域内に、外延的經濟組織の代り内包的經濟組織相次で起り、從來各大都市の周圍に、又は稍大なる區域上に發達せる場所にして、多くの都市的居住地となり、又工業地帶にして自由的經濟たる最内部の地帶は、諸國全體の上に擴張した。現代交通方法に據れる運送の低減は、價格に於て最下位にありし農業

經濟の生産物すらも、遠距離に運送能力あるに至つた。其上新鮮にして試食せられねばならぬ如き生産物の發送を、鐵道と船舶とが遠く送附しうるといふ事情も、之に加はり來り、或種類の生産が消費地に近きを要したる拘束も、著しく緩和せられたのである。

今や其生産品は、従前運送の左右する所となりて妨げられたる自然的利益が生産者に有利となる僻遠の地をも求むるをうるのである。又其反對に、經費の嵩む運送を要するに依り、是迄多大なる經濟的利益により、最も外部の土地に運送するを拒否せられたる生産物は、目下其地の有利なる自然的豫備條件即ち内包的經濟により、目下運送關係よりも一層重要なる、よりよき收益關係の生ずる限度にて、一層内部の地帯を求むる事が出来るのである。

生産地帯が夫故運送制度の發達によりて、常に異常に擴張せられたるのみならず、又往々停止せられたのである。故に農業關係は、

最早市場迄の位置が、農業を支配するに非ずして、寧有利なる自然的生産條件が、現在生産及び經濟組織として、必ず首位に置かるるといふ意味にて、根本的に改造せられたのである。

原料品加工

交通發達の影響にして、原料品加工即ち工業の性質に與へたる事に關しては中止せる小規模の數多の地方的經營の代りに、個々の大施設が起るに依りて、既に論述せし大經營に移る傾向の中にて、夫自身已に本場關係に強大なる干渉を有したと解すべきである。乍併顯著なる意義あるは、従前既に遙かに運送能力を有したる製造品の輸送よりも（容積ある、重き、價值低き）原始的生産品の購買及び發送が、機械的運送方法によりて、相對的に著しき輕減をうけたる状態となつた事である。夫により原料品分布の爲めの原料及び補助材料の收得地の近接といふ事は、施設の本場關係につき頗る重要さを失ひ、夫に對し其近

接せる事は従前正に決定的であつて別言すれば、原料品收得上中央にあるか、又は非常に近き所にありし工業部門の位置の利益は、多少共生産的の緩和を見たのである。丁度夫等に依りて、他の生産利益、勞働及び資本力又は信用市場迄の位置上に存するもの及び其他の如き利益は比較的高められたのである。此事は工業の一部に對しては、大都市に集中する事を意味するのである。

原料の價值が、生産品の價值に於て、より多く關與するか又は、より少なく關與するかに從ひて、個々の工業部門に於て、影響は種々様々なり。其上現今製造品の運賃と價格との關係に直面して、販賣を決定する其他の事情に對比し、製造品の多くのものの發送距離が、殆無影響になり其結果價格及び質の最少の利益も、最も遠き區域以内の競争上、個々の企業に長所優越を確保するに至り、種々の國の工業關係が、相交又して接觸する事も加はる。前述の事態に關

聯して、工業の専門化の傾向も増加して來る。

各地方は、世界市場を通じての競争に依りて（從來の如く地方的に供給せられたる原料品を、出來る丈多くの需要に供給する代りに）勞働部門の中にて、其競争が種々の周圍の原因より來る結果として、生産上に最大の優越性を表はすべき如き勞働部門を、主として經營する様に餘義なくせられた。運賃の些細な事は、生産過程の部分的現象にすらも、制限するを得、其爲種々の地方にして又往々遠離の地方にて行はるゝ獨立的企业として遂行せらるゝもの、又は生産過程上其前任者の生産品（半製品）の加工又は仕上げに従事する經營にして、彼の獨立的企业に對し、同様に地方的に獨立的となりし經營の許多の分離せられたる經營に、一の製造は分類せらるるのである。原料、補助材料、勞働方法及び機械は、益多く遠方より購求せられ、工業は交通上に發達を來し、夫によりて益自由に又活動的と

なる。吾人は又此發達をば、只原因によりて辨別するに止め、諸種の副現象又は影響（其中に喜しからざる現象もあり）に就きては、推考するを欲しない。價格の近似と工業の建設との發達が、取引上繁榮すれば繁榮する程、種々の國及び地方間の事情に應じ、夫々生じ来る運賃の僅少なる差異は、廉價なる大量生産に於ては、競争上益決定的になる。是よりして、是等の漸進的發達階級の運送價格の形態は、従前より非常に重要となり、又是は夫に對し、過去に於て何等の必要を有せざりし經濟的規定の爲には、明かに規定の根據となるのである。高價貨物に就きては、其事情は異なるものである。

地方的經濟より世界經濟に至る

經過

綜合的に全般の生産に於て累述せる發達現象を、地方的經濟の從來の状態より、價格構成上に同様な現象を呈する世界經濟に至る經過として表はすを得。此意味に於て、現在

の完備せる交通制度は、資本、貨幣、信用なくんば、只制限せられたる程度にて、其活動性を發揮し得る現代の國民經濟の、有力なる證左として思惟せらる。

說述したる事情を會得するに當り、亞米利加の國民學者ケアリー（Cahoy）が國民經濟の理想的又は普通の狀態に於ての想像は、如何に偏せるものなるかを明示してゐる。今舉げたる大家は、運送費が實際に消滅する爲に、生産は地方化するといふ事にて、經濟上望ましき形態が発生すとの見解を抱いてゐた、一定貨物の生産に對し、自然的豫備條件が缺乏せぬ限り、生産地と消費地と狭き範圍内に合致するといふ結果となる様、各の消費中心があらゆる需要品の自己生産を其中に誘引するに至る。合衆國の如き大なる區域の許に理解せられ、ケアリーが其學說を編みたる其事情につき考慮を拂ふども、其理論は首肯するを得ない、如何となれば其説は、地方的分業に對して異り

たる貨物に關しては、前述の如き誤謬を、一般化するより外に、何等の長所がないからである。然れどもあらゆる其他の貨物に關しては、交通方法は、人類經濟の如斯狀態を、幾つも取り去つたのである。既に天然の及び人爲的水路は、其水路の活性を發揮したる區域間の世界的交通を、古より爲すを得た、鐵道は此作用を向上し、且は一般化したると共に、蒸汽船は、水路の活性を一層高めたのである。前述の理論は、夫故前提を缺きたる歴史的發達の反證を含む事になるだらう。石炭及び鐵鑛脈の、漸進的中絶により、運送費が鐵石炭の騰貴に依りて、著しく高まり、交通の完成上の技術的要件が、或變化を來すべき將來に於て、始めて此反證は、或程度迄目撃する事になるかも知れぬ。

電力の生産上に及ぼす影響

現代の影響の許に實施せられたる生産の發達方向に、最近其外の變化を加ふるに至つ

た、それは動力を場所移轉の對象にすらも爲したる、彼技術的成功に其原因を有するものにして、即ち電力是である。電力を遠く誘導する問題上の經濟のあらゆる見解に適切なる解決に依り、廣範圍の數多の改造は、多くの生産部門に表はれてきた、改造の一般に傳播せらる其價值は、漸く近時認められたとはいへ、此效果を實現するは、左程困難でない。

需要としての發動力を生産すべき必要は、廢絶せられたりしも常に機械的施設によりての節約のみならず、又燃料購入の廢止によりて、施設資本及び經營費に、著しき節約を生せしめた。恰も此施設に依りて享くる利益は、丁度動力の生産に依り、最大の規模の大經營に於て、生産費を甚だしく緩和し、又他方炭坑に此施設を爲し、以て運賃の節約をなし、遠き運送に堪へざる燃料價值の少なき、廉價の石炭をも利用し、又往々動力をうる時一層低廉となる瀧の水力、若くは他の自然力を利用する點に存するのである。製造費及び事務

費を控除しても、動力の企業者には、生産品の實費の低落となりて表はるゝ其著額の利益が残存するのである。

其上動力は、各任意の強度にて殊に又微弱の強度にて供給しえらる。其結果動力を微量に、交替的強度に、又往々長き休止時間を要する勞働機關の使用も叶へ、其爲には從來處理せられたる方法にては、同等な經濟方法にては其動力を造り得ざりし小經營に就きては、一層效果あり。若し夫が一般に實施せらるゝ曉には、此技術的成功が、經營上如何なる變動を招致するかは明かである。農業經濟に於て大なる範圍の經營上、效果は著しくならう、原料品加工に對しては、一層徹底的であらう。

發動力に比較的大なる需要を要しゝ爲、今迄石炭の收得地に極めて近き點に有利なる立場を有しゝ工業部門は、石炭の收得に關して全く獨立的になつた、低廉なる動力が、必然考慮せらるゝを以て、工業的施設を分布する

事を國中に爲すをえた。動力は今や隨所に、各其必要程度に於て、又有利なる條件を以て供給せらるゝ故、小經營も亦機械的作業を基として設立されう。從來此點に於て嗟嘆せられたる小經營の、大經營に對する其不利の位置は、例令全部除かれざるとはいひ、全く夫によりて著しく緩和せらるゝに至り、他の點にて、小經營の有せる長所に依り、大經營と競争する機能を發揮するに至つたのである。電氣發動機は、大經營に於ても小經營に於けると等しく、其點に於て工業的進歩に強き衝動を與へたる、勞働過程の機械化及び單純化を促進した。併し乍ら全く決定的なるは、電氣の影響が、結局大なる動力も又少なる動力も、費用の立場より、同一單位價格にて供給し得らるゝ事、且又電流の通ずる距離に關しても、或區域内にては費用の差別生するなく、其電力を各地に於ける採用者に、同價格にて供給せらるゝといふ事にある。經營費の該成分は從ひて各生産者に對し、生産範圍及

び立場の差別なく對等に置かれる。此事は機械的經營及び工業的施設の同程度の地方的分配を、一般化するといふ意味にて、深き影響を與へぬ譯にはゆかぬ、經營力の廉價といふ事を綜合せば、技術が、我等の眼前に與ふる著大なる進歩を實現し得る限り、其國の全範圍の工業の活動と發達とは、終局の結果として起る事必然である。其極めて廉價なる大なる動力を、瀧より獲得する事、又例へば生産物の運送等に關して、製造施設に適當なる根據を與へたる場所に、動力を誘導する事は、從來發見し得ざりし生産物が、夫により得られたる新たなる處置法を出來しめたのである。主例、智利硝石を補充する炭酸瓦斯である、電氣工業は此點に於て、漸く其効果を顯はしたに過ぎぬ。

商業の形態に及ぼす交通完成の

影響

前に述べたる改造が、商業の範圍、分類及び客體の變化の上に表はるゝは勿論にして、

從ひて商業の進歩と發達とは、交通方法の擴張と完成とに平行して來る、殊に現代の交通方法に據る商業運動の著大なる發達は、發達上眞のものでなく、前に論述したる結果の外部の現象に過ぎぬ、交通方法の完成にして商業の内部の性質に及ぼしたる影響は、猶列記すべし。

第一に此處には、互に前提を爲せる大經營及び専門化を促す、生産類似の現象を舉げる。結果に於て、此發達は、商業部門の複雑化、一方より見れば分裂、他面より見れば集合にして、大多數人民の常規的需要の物品を、自己の倉庫に集納する處の最終の、基礎を形成せし小賣に、種々雑多の販賣擴張を示す。總ゆる部門に對しては、運送の安全と速度とは、今言明せる結果に就きても主張せらる。其安全と速度とは、商事企業の危險を減少し、資本の回收を迅速にす、是は一方に於ては、又貨物の適當な低落をなさしめ、他方に於ては小資本を以て、より大なる商事企業を營まし

む、故に或は貨物量により、或は遠距離に對する商戰の延長を來すのである。人事上並びに貨物取引上うる、猶深刻なる輕減は、其外媒介人の多數の者を不必要ならしめし事である。媒介費の廢止による直接的商事關係の此利益は、例へ媒介によりて利得を得る夫等の人々は勿論、其經過の許に腦むと雖も、總體經濟の利益として記すべきである。

個々の商業部門の或範圍にて、地方的顧客關係の爲、商業補佐人の増加があり、其爲に旅客交通の低廉と速度とが、其原因を爲したのであるが、中間取引は一般に相對的退步せる事決定せらる。

一般に低廉なる通信と關聯して、殊にも小取引の享受する輕減は、小賣と地方的消費者間の關係を緩和し、消費者は外部より、何時にても希望せる商品を供給しえらるゝに至つた。消費者は、小賣業者が貯藏しある種々の貨物を専門商より購求する事が出来る。其中に存在する健全なる競争は、地方取引の地盤

を、決して奪ふといふ事がない。運送業といふ新たな商業形成が、此基礎の上に出來たのである。大都市の旅客交通の集中又は、地方交通の改善は、遂に小賣をも大經營にて營むを得しめた、此事は最近此發達より生れたる萌芽たる商品店にて見らる、此商店と運送業との連絡は稀の事でない。

現代の運送方法の給付能力は、變替的運氣の各般の利用を、商業に充分に確保した、併し乍ら或限度を超越せる場合に、舊式の運送方法は、或は其任務を拒否するか、或は船頭及馭者が、其運氣より來る利益を、屢大部分着服して、只著しく高價格を呈する程に利用せられたのである。實用的にして任意貨物の貨物價格並びに事實的引渡能力の安全は、通信の進歩と關連して、投機商に對する刺激性を包藏せしは否む事出來ない。蒸汽交通方法は其關係貨物にとり、世界的運送能力上必要なる前提なりし故に、蒸汽交通方法に依りて、原料生産品の定期取引は、漸く一般化するに

至つた。

電氣上の通信は、種々の取引市場に一般に通用する商品(又有價證券)の價格差より、同時期の賣却又は購入によりて利益を求むると共に、其作戰により殆價格の充分なる平均を招致する轉賣取引(Arbitragehandel)を招致した(運賃は除外さる)。

現代の交通制度及び夫に基づける設備にして、商業を助くる華客收集の特別なる方法は、我等に關係ある原因に歸着すべき、夫等の現象の一部をも看過せざる様、完備の爲に考慮せられねばなるまい。

交通關係の上に激烈なる改變をうけたるものゝ容易に説明し得らるゝ結果は、定期市^{ブツセ}の衰微である。即ち大取引の數多の原因集まり、或地點に發生したる購買市場にして、生産者は其商品を以て卸商及び商人をして、一定の時期に集合すべき地點を必要ならしめたる不完全なる、交通方法に立脚せる、歴史的意義を有せる市場である。是等の原因の猶依然と

して存在する箇所は、今日猶市場は存置せらる。過去に捉はれて、時期的陳列所に外ならざる見本市場により、夫を補充せんと努むる者ありと雖、是は商業の内部の性質に就きては、何等の關係がないのである。同様なる方面にて、思索研究の結果、年定期市起りしも、こは一部分中間取引と小取引との爲に、賣買の機會となるが、其他は農産物と工藝品の生産者が、消費者と直接取引をなす目的を達成するに在りて、商業上深甚の効果は乏しいのである。

結局完全なる運送通路の方向は、又商業通路の方向を意味するといふ事は、明瞭にして、世界商業の大なる商品移動に關しては、國民生活に深き意義を有したる經濟史の現象にも密接な關係があるのである。從來の歴史的時期を畫せる變動にして、最近の過去及び現在に屬するものは(スエズ運河、大平洋鐵道、西比利亞鐵道、パナマ運河、バクダット鐵道)など追懷せらる。

勞銀、資本利子及び地代に及ぼす影響

價格現象としての學說を含める交換經濟的貨物供給に於ける利益の分配は、當然交通方法の活動性に依り、一定方向に於て影響を蒙る。

生産の増加と變改とは、勞力の需要上影響なき譯にゆかぬ。一般に殊にも工業地を形成する處は、勞銀の騰貴の意味にて主張せらる。交通制度の發達に依りて地方的勞銀は止み、又處世上地方的拘束をうけたる賃銀上の故障が消滅せしを以て、勞働供給と需要の擴張が、遠き區域を超え、其代りに表はる。他の事情にして、勞働者を一定の土地に拘束せぬ限り、非常に交通低廉なる時に際し、勞力の需要の存在する箇所又は勞銀の高き場所に、職業を求むか將又、勞働の必要止み勞働の報酬の減少せる處より、退去する事は、勞働者の任意となつた。極めて發達せる通信制度は、此平均にも著しく效驗する。被傭者の移動が極め

て盛になり、各國より續々、海を超えて迄も、手續を経たる大群の移住が行はるゝ程度に旺盛となりしが、此移住は勞銀の平均上、相應の作用を及ぼしたのである。併しながら人類の相互的接近又は勞働者同盟として表はるゝ相互的團體組織は、交通の發達に依り、著しく良好となり、其同盟よりして、勞銀關係に徹底的變化が生ずるのである。個人的勞銀より團體的勞銀設定に及ぼしめたる、勞働階級の組織は、現代の交通制度なくんば、毫も思考するを得ないのである。

地方的賃率の或る平均上の意味にて、交通方法は又夫が誘致する需要品の價格の平均によりて、不熟練勞働と生計費とに對する一般の勞銀賃率間に在る關係に基づくものに、間接に作用してゐる。種々の原因集合して作用せられたる舊文化及び新文化諸國間の勞銀の平均の傾向は、極めて顯著となつた。舊文化國の諸邦に於ては、人口の密度に依り金額は低く且例令勞働者の同盟によりて、高めらる

ゝとも、猶經濟的影響の爲日用品の高價なる故、實質賃銀として比較的低廉である。新たに開かれたる諸國にありては、勞力の少きと農産物の低廉なる爲に、貨幣賃銀も、實質賃銀も高し（例令實質賃銀は屢關稅により、工業生産品が高價となるを以て、數字に表はれたるよりも高からずといふと雖）。

容易となれる交通に依り相互的影響に據れる平均は、明かである。新世界よりの農産物の輸入に依り、舊文明國の各國の價格に、實質賃銀の騰貴を意味する、或壓迫を及ぼしたると同時に、勞働者の海外移住により、規準的勞銀は増加せられたり。新開の諸國に於ては、價格騰貴の影響に就き、農産物の輸出減少し、又他方に於て勞働者の移入並びに實質及び貨幣賃銀は減少した。

大都市の發達は、幾多の原因に歸すべきも、就中交通方法の完成は、第一位に置かれる、其發達は、種々の原因關聯して、交通制度と勞銀間の關係を更に媒介したる或深き影響

を、明かに勞銀關係に及ぼすのである。

資本の移動は、勿論人間の移動よりも、些少なる障害に遭ひ、且貨幣及び信用の形に於ける資本の讓渡には經濟的計算上何等實用的效果を生ぜざる、浪費關係生ずるを以て、交通方法の平均的作用は、全く特別に資本利子の範圍に表はる。勿論利子の清算さるゝ商品移動によりて、諸國間の終局の資本讓渡が起るのである。併しながら此運送の完全と低廉とは、是等の商品移動をして、あらゆる障害より免れしめた、資本讓渡上他の障害なき限り、其完成階段にある交通方法は、遠隔なる諸國間の利率が、全く平等性を招致する事にならう。

地代に關しては、既に前箇所にて此點に接觸するの機會があつた、需要區域の供給が行はるゝ其區域へ、新らしき區域が編入せらるゝに依り、運送費低廉の爲に、舊市場區域内の需要に對し、供給力増加するに従ひ、價格及び其中に含まれたる地代は壓迫せらるゝ

事、又如何に増加的需求が、夫に交通完成が反對作用を及ぼす事ある地代の價格を騰貴せしむるを得るかを、吾人は知るのである。新らしく引き入れられたる區域にて、地代が漸く騰貴價格を發生する事は、同様に確定的のものである。其總結果は恰も今價格の平均の中に含まれたる或種の補填である。今研究せられたる移動は、各方面に同等の生産條件あるに當り、適當の價格にて充足されたる需要の程度及び、其需要を丁度其價格にて充足する供給區域の範圍とに依りて、定まるべき其一定點に落附くに相違ない。

交通低廉の影響は、同様に既に論議せられねばならざりし如く、若し新區域が、有利なる生産條件を具備するならば、其作用一層深く及ぶのである。交通改善の終局の影響は、地代の資本化によつて、大なる經濟的範圍の事實となり、又少程度に於て、此事は先に假定せられたる場合にも當嵌る。資本化の結果地代は其國の平均的度合にて、土地の利子收

益の不可分的部分として思料せらる。此收益の減少は生産者にとりては、土地の收益價值又は市場價值(資本價值)となりて、再現する或損失を意味す。目下成立しつゝある資本化に依據せる其階段に對し、斯くの如き原因より發生せる價格の壓迫は、夫がため其生産者の全階級に、多少共著しき利子の損失及び資本の損失とを來さしめ、下落せる價格にて買ふ消費者の利益は夫に相反するのである。吾人の目撃せしが如く、破綻に瀕せる經濟的現象は、理論的には甚容易に解釋せらるるも、實際的國家行政上に困難なる問題が、此處より發生する事がある。

大都市的居住地の地代に對する交通方法の關係は、地代價によりて影響せられたる住宅關係に於て、特殊の適用を見る、若し營業生活の集合としての中心すらも、此影響を蒙らざるならば、改善せられたる交通方法が、居住地の周圍に新住宅を散布するを爲しうると共に、中心に集まらんとする都市的住宅區域

の家屋の利益の更に騰高するを抑制するか、又は尠くも妨ぐる意味に於ける作用が行はるるのである。

吾人は同時に農業及び工業の、交通方法の影響の許にて經驗する改造を追想せば、交通完成の影響にして、地代の形態に表はるる其方法に對し、次の反對命題起る、交通の完成は、地方的位置より發生する地代に、平均作用と一部は緩和作用を起し、「夫に反し自然的生産利益より生ずる地代をば、高き程度に效力あらしむ」と。

最後に交通方法の傳播によれる、地代の地方的發生を思考すべきである。通路の施設、殊に出發點、停留地點の土地の收得に依り、又建築地に於ける農業經濟的に利用さるる土地面積の變形に依り、又増加せる勞働者の爲の營利的施設と、住宅地とを所持せる地方に、移住の豫想あるによりて、新らしき交通方法の發生を促すべき、夫等の土地の賣買價格の騰貴は明白である。

完成せる交通制度に依れる種々なる生活區域の影響及び夫より發生せる經濟上の反動

吾人の物的生活上の全般の性質の上に、經濟的發達が及ぼしたる、多方面の副作用及び餘效を細部に互りて研究するは、恐らく必要としない、如何に多方面に於て、我等の欲望充足上の現代の形態は、此點に規準的原因を有する實證を、誰人も認むるに躊躇せないのである。交通の發達によりて始めて吾人に知らしめ、又各地より又各風土より入りたる是等の原因は、如何に多くの貨物を豊かにせしか。又他方に於て、食物、衣服、住居の一般の消費に於ては、其平等性には當然地理的、倫理的の特質には其限度あれども、又是等の限界をも、部分的に超越せし平均類似と平等の方向を経たるかといふ事を認むるのである種々の生活區域の上に及ぼしたる交通の深刻なる影響を、個々に調査する事由は、猶乏しい、茲には吾人の研究に拘はる現象と物體

との間の關係が、實質的原因として略述する。これ終局の結果を誘起する種々雜多の原因結合である。兎に角是等の原因の集合體に、交通制度の關與せる部分は、著いものである。集合生活の補助機關として、並びに吾人が文化といふ名稱の許に、網羅するを常とする人類の發達の、種々なる方面に關する交通制度の效果は、此處にては又經濟上に反映する、その餘效の爲に吾人の興趣を感せしむるのである。只二三のものは、現象の範圍より除外して考慮すべきである。

世界交通は、相互的補充と獎勵とを意味する其交通の中に理解せられたる、國民經濟の或從屬性を齎してゐるが、又他方面より見れば、先優權を獲んが爲必然戰爭迄も辭せざる程の競争を惹起した。原始的國民生活の階段に於ては、最良の狩獵地と漁業地の爭、肥沃なる牧地と果實土地の爭奪である。最近の事故は此點に就き永く論及するは、蛇足の感ある程明瞭且印象深きものである。此點に關し

動きつゝある政治的範圍は、交通の發達によりて共に著しく誘導せられ又促進せられてゐる。吾人は只強き國家制度に到達すべき國民の要素の融合が、如何に甚だしく完備せる交通を條件とするかを、直ちに會得せんと思はゞ、歴史的事蹟に着眼すれば足るのである。而して此完全なる交通よりして、其國民の經濟上に最も有益なる衝動の出づる事は勿論である。

交通方法は、人類相互の社會的關係に、如何に改造的作用を及ぼしたるかは、同様に容易に洞察せらる。社會關係は、自己の思想、感情及び利害に就きては個々人をして、常にかゝる結合には前提を要する包括的社會に融合せしむる。是等の要件は、茲に始めて種々の生活區域に向つて、新計劃を設定し、其實現が又經濟を支配するのである。

此經濟的及び國家的發達の特種現象は、都市の發達にして、殊に大都市の發達である。交通方法と此關係は既に *post hoc ergo Propter hoc* (如斯理由より二個の現象の原因的關係に

關聯せる不完全なる結論の意」といふ句を以て示さる。種々なる有利の又は不利なる附隨的現象は、誰人とも免れない、其中にても、經濟的行爲の住宅問題は、明かに新らしき問題を呈してゐる。其解決には、交通方法夫自身が寄與すべき職能を有してゐる。

殊に精神的及び良俗的生活に對し、一般の教育狀態(旅行、通信、印刷物)の向上に於ける、完成せる交通方法の影響は、實に著しく考慮せられ、他の方面に於て亦増加の生存競爭即ち我等の現代的生存の早急及び無休(焦慮)とが考慮せらる。又始めに考慮せし點に於て、科學と技術とは、其部の促進を見る時に當り、各勢力の緊張により、廣範圍に亘る經濟は、支配的生活内容に迄もなるが如く重せられ、其結果經濟は、其内容に向つて、手段より目的に、殆目的其物に迄もなつたのである。

交通に依りて經濟及び種々の生活區域に、膠著する錯雜にして又重要な關係を、斯様

に包括的^{パブラマ}幟畫に於て一見する時、夫にて交通方法といふ其特性能力ある武器を所有する、國家なるものは其國民の經濟上、影響あるべきを察知し、其機關を、國民の保護及び正しき法規の對象と爲さねばならぬといふ事は、自ら判明する。